

事業所名

放課後等デイサービスくる

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

8 日

法人（事業所）理念		子どもの療育を通して未来を育み、社会に貢献する。		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来、子どもたちが自立して働いて社会生活を送ることができるよう、教育、医療、福祉の観点から必要な支援を行う。</li> <li>・社会生活に必要なコミュニケーション能力や対人関係形成の基礎を養っていけるよう、SSTを取り入れる。</li> <li>・子どもたちが自分らしく生きていけるよう、集団生活を体験しながら自己肯定感や自己効力感を育む。</li> </ul>		
営業時間		平日 9時30分～18時30分 学校休業日 8時30分～17時30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所のスケジュールに沿って過ごしていき、自己の健康管理、身の回りの整理整頓、身だしなみの確認などを支援し、基本的な生活習慣の確立を目指す。</li> <li>・調理活動や掃除、洗濯を行い、心地よく生活できるよう、衣・食・住全般における活動を経験していく。</li> <li>・決まった時間に宿題を行う。学習の習慣を身につけ、基礎学力の定着を支援する。</li> </ul>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながら運動する機会を取り入れ、基礎体力を向上させたり、体幹を鍛えたりすることを支援する。</li> <li>・身近な道具（はさみ、セロテープ、のり、筆記具）を使うような製作活動を行い、日常生活動作の向上を目指す。</li> </ul>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由時間を設定し、状況に合う行動の獲得を支援する。</li> <li>・自分自身でしたいことを決めて過ごしたり、他児と声をかけ合ったりして遊びが展開されていく過程を見守る。</li> <li>・さまざまな活動を経験する中で、状況理解力や想像する力を伸ばしていく。</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団（15人程度）でのSSTと小集団（4～5人程度）でのSSTの両方を実施し、場に合った言葉遣いの獲得を支援する。状況を整理して、自分だったらどう話すのか、どう行動するのかについて考えることを大切に実施する。</li> <li>・ロールプレイを取り入れ、実際に自分の気持ちを他者に話す練習をする。机上では自分の気持ちをまとめて文章にする活動を行う。実践と考察を繰り返していき、言語コミュニケーション能力の向上を図っていく。</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSTを中心に、自分の行動を振り返ったり考えたりする時間を取り入れていく。自分の言動や行動が他者からどのように映るのかを考えられるよう支援する。</li> <li>・活動中、利用者同士で話し合って役割を決めたり考えを出し合ったりする時間を積極的に取り入れ、協調性や協働性の向上を目指す。</li> <li>・誰もが集団の一員として、自分の意見を話す意思表示や他者の話を聞く姿勢の獲得ができるよう支援する。</li> </ul>		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用日ごとに連絡帳を記入し、利用者の様子を保護者に伝える。</li> <li>・送迎時に口頭で保護者に利用者の様子を伝え、情報共有を行う。</li> <li>・保護者からの相談を随時受け付け、必要に応じて個別面談を行い助言する。</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校教諭、中学校教諭と情報共有。</li> <li>・利用者の進路について（進学、就労）情報提供や助言をする。</li> </ul>
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校教諭や特別支援教育コーディネーターと情報共有を行う。</li> <li>・相談支援事業所と密に連絡を取り合い情報共有を行う。</li> <li>・図書館や児童館など公共施設の利用。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内にて各種研修の実施。（虐待・身体拘束、BCP、感染症）</li> <li>・プリセプター制度の導入。</li> <li>・外部研修への参加（権利擁護、人材育成）</li> </ul>
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節にかかわる行事の実施。（水遊び、ハロウィン、クリスマス、年末の大掃除、書初め、正月あそび、卒業式など）</li> <li>・文化に触れる行事の実施。（二十四節気の話、花見、こいのぼり、七夕、月見、節分、ひな祭りなど）</li> <li>・避難訓練（地震、火災、非常食の試食）の実施。</li> </ul>		